

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

一関市「放課後子ども教室推進事業」の成果と課題(岩手県一関市)

取組事業

放課後子ども教室推進事業

活動実施場所

市民センターなどの公共施設、小学校等

取組概要

【放課後子ども教室推進事業】

33小学校区のうち22小学校区の児童を対象に23か所で放課後子ども教室を開催し、様々な体験活動や学習プログラムを提供した。

◎開催箇所の増加に向けた取り組み

地域住民や保護者との協議により、今年度は2か所で新たに子ども教室を開催した。

◎指導者の研修

国庫委託事業の関係者と放課後児童クラブの関係者を対象とした研修会を2回開催した。1回目は消防士を講師に「AEDの使用法」、2回目は少年鑑別所長を講師に「子どものほめ方しかり方」をテーマに設定した。

参加者アンケートによると、AEDの使用法や発達障がいへの対応のほか、保護者との向き合い方といったテーマの設定を希望する声が多い。



研修会の様子

事業成果

【放課後子ども教室推進事業】

今年度、新たに2か所で開催することになり、市全体では児童数が減少しているものの、子ども教室への登録児童(27年度1,126人)数や延べ参加児童数(27年度44,876人)は横ばい又は微増となることが見込まれる。

新たに開設した子ども教室においては、児童クラブの児童も参加できるような仕組みとしたことにより、児童間での交流が推進された。

評価については、登録児童数や延べ参加児童数のほか、子ども教室に対する期待などを児童対象のアンケート調査により把握し、3月に開催する委員会で検証する。

課題や今後の取組

(課題)

学校統合によりスクールバスで登下校する児童数増えることから、子ども教室の開催場所について、学校や地域住民、保護者などとの協議が必要。

(今後の取り組み)

子ども教室の未設置小学校区から、子ども教室や児童クラブの設置について検討したいという声が出されており、情報提供と協議を進める。

これまでは、市が直接事業を実施してきたが、今後は地域住民や地域の様々な団体と連携して事業を実施していく。